

主要施設の動向 / タワー・展望台

ハルカス300 / 横浜マリンタワー

編集部

ガラス張りでパノラマビューが楽しめる「天上回廊」(60階)

ハルカス300



集客面で
周辺施設との連携を強化

周辺施設とのコラボレーションも
積極的に展開

関西圏を中心に
年間約200万人を集客

「ハルカス300」は、2014年3月にオープンした日本一高いビル「あべのハルカス」の最上部、58〜60階に位置する3層構造の展望台である。

58階には上空まで吹抜け構造の屋外広場「天空庭園」とカフェダイニングバーが配されており、「開放感のある気持ちのよい空間」と好評を博している。60階は東西南北360度、足元から天井までガラス張りの「天上回廊」となっており、地上約300mの高さから、大阪を見渡せるパノラマビューを満喫できる。天候がよければ、京都から六甲山系、明石海峡大橋、淡路島、生駒山系、関西国際空港などを一望できる。

屋上にあるヘリポートを見学できる「ハルカス300ヘリポートツアー」も、10時から20時までの間、毎日13回（ツアー所要時間は15〜20分）実施しているほか、夜間には天空庭園を光と音で彩るショーを開催している。

また、近鉄グループの連携サービスとしてスタートした「ハルカスウエディング」では、天空庭園での挙式と、天王寺都ホテルでの披露宴、大阪マリOTT都ホテルの宿泊をセットにするほか、近鉄百貨店での指輪などの購入や近畿日本ツーリスト(株)での新婚旅行のコーディネートを提供した、トータルなサービスを提供する。

展望台来場者は、関西圏からが約30%、中京圏、首都圏からそれぞれ約10%、また、インバウンドについては、10%弱であるが、現在増加傾向にあるとのこと。

年間来場者数は開業初年度258万人、2年目195万人と推移している。「開業景気もあり、2年目は初年度より減少して180万人くらいの来場を予想していたが、結果、上回ることできた」（近鉄不動産㈱アセット事業本部ハルカス運営部課長中井公一氏）とする。

3年目となる今年も集客状況は堅調で、特にゴールデンウィークやお盆の繁忙期などには来場者が1万人を超える日もある。

同社では、イベントの開催や他施設との連携を推進し、集客強化を図っている。

恒例となったビアガーデンを6月から9月まで実施するほか、今年の夏休みには、館内の「あべのハルカス美術館」の展示内容と連携した展示装飾や、謎解きゲーム、エアアートラクションの設置により、集客を図った。

また、15年9月、NPO法人地域活性化支援センターより「恋人の聖地」の認定を受け、認定記念ミニイベント「Harukas Heart」設置やペア当日入場券とカフェダイニングでのコース料理をセットにしたペアプランの発売、カップル向けソファシートの導入など客層の拡大にも取り組んでいる。

各種番組や映画のロケにも積極的に協力。香港の映画会社が制作するジョン・ウー監督の作品「追捕MANHUNT」のロケ地に選定され、ロケ地観光を通じた、今後のインバウンドの集客にも期待する。

周辺施設との連携としては、あべのハルカスに近い、天王寺公園エンターテインメント「てんしば」との相互割引